

全国高校生プログラミングコンテスト

CHaser2009

ステップアップヒント4

【サンプルプログラム4】 mode と step を使ったプログラム

program フォルダの下に「sample2009_04」という名前のフォルダを作り、次のプログラムを入力します。プログラム名は「sample2009_04.java」です。

【動作】

- ・スタート直後に上下左右をサーチし、アイテムのある方向に進むようにします。
- ・アイテムが上下左右になかった場合、今まで通り上に進みます。
- ・新たに step という変数を作り、それぞれの mode 内で step の数値に応じた動作ができるようにします。
- ・ステータス（アイテム数、ターン数、モード番号、ステップ番号）を画面に表示させます。

【sample2009_04.java】

```

1 public class sample2009_04 {
2
3     public static void main(String[] args) {
4         int[] value;
5         value = new int[10];
6
7         int mode = 10, /* 現在のモード */
8             old_mode = 1, /* 前のモード */
9             step = 1, /* ステップ */
10            turn = 0, /* ターン数 */
11            item = 0, /* アイテム数 */
12            i; /* カウンタ変数 */
13
14        /****** 競技サーバに接続する *****/
15        edu.procon.Connect2009 target;
16        target = new edu.procon.Connect2009("全プロ4");
17
18        System.out.print("サーバと接続しました。");
19
20        while (true) {
21            value = target.getReady();
22            if (value[0] == 0) break;
23
24            turn++; /* ターン数+1 */
25            System.out.print("%nturn=" + turn + ", mode=" + mode + ", step=" + step);
26
27            /****** 周囲に相手があるかチェック *****/
28            if(value[2]==1 || value[4]==1 || value[6]==1 || value[8]==1){
29                old_mode = mode;
30                mode = 90;
31            }
32
33            /****** 周囲にアイテムがあるかチェック *****/

```

```

34     if(value[2]==3 || value[4]==3 || value[6]==3 || value[8]==3) {
35         old_mode = mode;
36         mode = 20;
37     }
38
39     /***** mode で分岐する *****/
40     switch (mode) {
41     case 1: /* 壁にぶつかるまで上に移動する */
42         if(value[2] == 2) { /* 上にブロックがあったら */
43             value = target.walkRight(); /* 右に移動し */
44             mode = 2; /* mode を 2 に変更する */
45         }
46         else{
47             value = target.walkUp(); /* そうでなければ、上に移動する */
48         }
49         break;
50     case 2: /* ブロックにぶつかるまで右に移動する */
51         if(value[6] == 2) {
52             value = target.walkDown();
53             mode = 3;
54         }
55         else{
56             value = target.walkRight();
57         }
58         break;
59     case 3: /* ブロックにぶつかるまで下に移動する */
60         if(value[8] == 2) {
61             value = target.walkLeft();
62             mode = 4;
63         }
64         else{
65             value = target.walkDown();
66         }
67         break;
68     case 4: /* ブロックにぶつかるまで左に移動する */
69         if(value[4] == 2) {
70             value = target.walkUp();
71             mode = 1;
72         }
73         else{
74             value = target.walkLeft();
75         }
76         break;
77
78     case 10: /* スタート直後、4方向をサーチして移動する方向を決める */
79         switch (step) {
80         case 1:
81             value = target.searchUp(); /* 上をサーチする */
82             System.out.print(" : 上サーチ");
83             for(i=1; i<10; i++) {
84                 if(value[i] == 3) { /* 上方向にアイテムがあったら */
85                     System.out.print(" : 上方向にアイテムあり。");
86                     mode = 1; /* 上に行くモードにして */
87                     break; /* ループを抜ける */
88                 }
89             }
90             if(i==10) {
91                 step = 2; /* アイテムがなかったら、ステップ 2 へ */
92             }
93             break;
94         case 2:
95             value = target.searchRight(); /* 右をサーチする */
96             System.out.print(" : 右サーチ");
97             for(i=1; i<10; i++) {

```

```

98         if (value[i] == 3) { /* 右方向にアイテムがあったら */
99             System.out.print(": 右方向にアイテムあり。");
100             mode = 2; /* 右に行くモードにして */
101             step = 1; /* ステップを1に戻し */
102             break; /* ループを抜ける */
103         }
104     }
105     if(i==10) {
106         step = 3; /* アイテムがなかったら、ステップ3へ */
107     }
108     break;
109 case 3:
110     value = target.searchDown(); /* 下をサーチする */
111     System.out.print(": 下サーチ");
112     for (i=1; i<10; i++) {
113         if (value[i] == 3) { /* 下方向にアイテムがあったら */
114             System.out.print(": 下方向にアイテムあり。");
115             mode = 3; /* 下に行くモードにして */
116             step = 1; /* ステップを1に戻し */
117             break; /* ループを抜ける */
118         }
119     }
120     if(i==10) {
121         step = 4; /* アイテムがなかったら、ステップ3へ */
122     }
123     break;
124
125 case 4:
126     value = target.searchLeft(); /* 左をサーチする */
127     System.out.print(": 左サーチ");
128     for (i=1; i<10; i++) {
129         if (value[i] == 3) { /* 左方向にアイテムがあったら */
130             System.out.print(": 左方向にアイテムあり。");
131             mode = 4; /* 左に行くモードにして */
132             step = 1; /* ステップを1に戻し */
133             break; /* ループを抜ける */
134         }
135     }
136     if(i==10) {
137         step = 1; /* アイテムがなかったら、ステップ1へ */
138         mode = 1; /* 上に行くモードにする */
139     }
140     break;
141 }
142 break;
143
144 case 20: /* 周囲にアイテムがあったら、取りに行く */
145     /* 上にアイテムがあったら */
146     if (value[2] == 3) value = target.walkUp();
147     /* 左にアイテムがあったら */
148     else if (value[4] == 3) value = target.walkLeft();
149     /* 右にアイテムがあったら */
150     else if (value[6] == 3) value = target.walkRight();
151     /* 下にアイテムがあったら */
152     else if (value[8] == 3) value = target.walkDown();
153     mode = old_mode;
154     item++; /* アイテム数+1 */
155     System.out.print(": item=" + item); /* アイテム数の表示 */
156     break;
157 case 90: /* 周囲に相手がいたら、put する */
158     /* 上に相手がいたら */
159     if (value[2] == 1) value = target.putUp();
160     /* 左に相手がいたら */
161     else if (value[4] == 1) value = target.putLeft();

```

```

162         /* 右に相手がいたら */
163         else if(value[6] == 1) value = target.putRight();
164         /* 下に相手がいたら */
165         else if(value[8] == 1) value = target.putDown();
166         mode = old_mode;
167         break;
168
169     }
170     /****** 制御情報が 0 だったら終了する *****/
171     if(value[0] == 0) break;
172 }
173 /****** 競技サーバから切断する *****/
174 target.exit();
175 }
176 }

```

【プログラム説明】

①変数の宣言

```

7         int mode = 10, /* 現在のモード */
8         old_mode = 1, /* 前のモード */
9         step = 1, /* ステップ */
10        turn = 0, /* ターン数 */
11        item = 0, /* アイテム数 */
12        i; /* カウンタ変数 */

```

スタート直後に上下左右をサーチアイテムのある方向を探索する新しいモード（モード 10）を実行させるので、mode の初期値は 10 となります。

step の初期値は 1 とします。turn は現在のターン数、item は取得したアイテム数、i は for 文のカウンタ変数です。

②チーム名

```

16        target = new edu.procon.Connect2009("全プロ4");

```

edu.procon.Connect2009 クラスを使って競技サーバに接続します。「サンプルプログラム 4」なので、チーム名を「全プロ 4」にしました（変更しても構いません）。

③接続成功のメッセージを表示

```

18        System.out.print("競技サーバに接続しました。");

```

競技サーバに接続したことを知らせるメッセージをコマンドプロンプトの画面に表示させます。

④ステータスの表示

```

24        turn++; /* ターン数+1 */
25        System.out.print("turn=" + turn + ", mode=" + mode + ", step=" + step);

```

ターン数をインクリメントし、ステータス（ターン数、モード番号、ステップ番号）を表示させます（画面 21）。print メソッドや println メソッドを使って様々なステータス（状態）を表示することでプログラムの動きを把握することができます。また、プログラムが正常に動かないときその原因を知ることができます。

```

C:\Windows\system32\cmd.exe
-----
sample2009_04 起動バッチファイル 2009.7.13
-----
競技サーバに接続しました。
turn=1, mode=10, step=1: item=1
turn=2, mode=10, step=1: item=2
turn=3, mode=10, step=1: 上サーチ
turn=4, mode=10, step=2: 右サーチ
turn=5, mode=10, step=3: 下サーチ
turn=6, mode=10, step=4: 左サーチ: 左方向にアイテムあり。
turn=7, mode=4, step=1
turn=8, mode=4, step=1
turn=9, mode=4, step=1
turn=10, mode=4, step=1: item=3

```

【画面 21】ステータス表示

⑤mode=10 の処理

```

78     case 10: /* スタート直後、4方向をサーチして移動する方向を決める */
79         switch (step) {
80             case 1:
81                 value = target.searchUp(); /* 上をサーチする */
82                 System.out.print(": 上サーチ");
83                 for(i=1; i<10; i++) {
84                     if(value[i] == 3) { /* 上方向にアイテムがあったら */
85                         System.out.print(": 上方向にアイテムあり。");
86                         mode = 1; /* 上に行くモードにして */
87                         break; /* ループを抜ける */
88                     }
89                 }
90                 if(i==10) {
91                     step = 2; /* アイテムがなかったら、ステップ2へ */
92                 }
93                 break;

```

モード 10 は、上下左右をサーチして移動する方向を決めるので、表 5 のように 4 つの手順 (step) に分かります。

まず上をサーチします。次に for 文で周囲情報 value[1]から value[9]にアイテム (3) があるか探索します。もし、アイテムが見つかったら「上方向にアイテムあり」とメッセージを出力した後、mode に上に移動する番号 1 をセットし、break 文で for 文を終了します。このとき、i の値はアイテムが見つかった番号になっています。

もし、アイテムが見つからなかった場合は、for 文が最後まで進んでいるので i は 10 になっています。これを使い if 文で i=10 ならばアイテムがないと判断し次のステップ (step=2) に進みます。

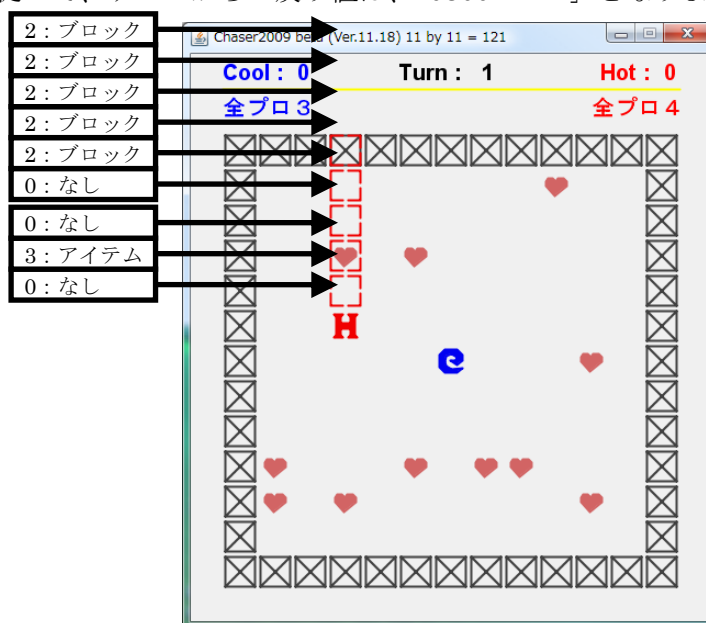
step2 から step4 も同様に行います。

【表 5】 モードとステップの種類と動作

| mode | 動 作 | |
|------------|-------------------------|----------------------------|
| 1 | ブロックにぶつかるまで上に移動する | |
| 2 | ブロックにぶつかるまで右に移動する | |
| 3 | ブロックにぶつかるまで下に移動する | |
| 4 | ブロックにぶつかるまで左に移動する | |
| 10 (新規) | 上下左右をサーチしアイテムのある方向を探索する | |
| | step=1 | 上をサーチし、アイテムがあれば mode=1 にする |
| | step=2 | 右をサーチし、アイテムがあれば mode=2 にする |
| | step=3 | 下をサーチし、アイテムがあれば mode=3 にする |
| | step=4 | 左をサーチし、アイテムがあれば mode=4 にする |
| 20 | 周囲（上下左右）のアイテムを回収する | |
| 90 | 周囲（上下左右）の相手に put する | |

【ブロックの外側について】

画面 22 は上にサーチしたときの画面です。serchUp メソッド実行後、サーバからは 9 マス分の周囲情報が送信されますが、ブロックの外側は全てブロック (2) となります。従って、サーバからの戻り値は、「030022222」となります。



【画面 22】 サーチがブロックを突き抜けた場合

【発展】

現在のプログラムは、上→右→下→左の順にサーチして 1 つでもアイテムがあったらその方向に進みますが、4 方向をサーチして 1 番アイテムが多い方向に進むなど変更してみましよう。